

# 東北地方 1か月予報

(1月18日から2月17日までの天候見通し)

平成15年1月17日  
仙台管区気象台発表

## <予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

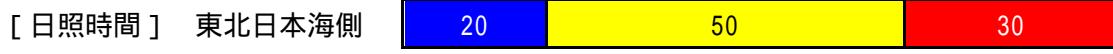
冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。

平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は平年並か低く、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

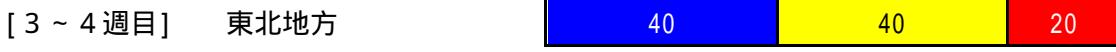
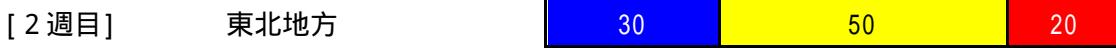
週別の気温は、1週目と2週目は平年並、3~4週目は平年並か低い見込みです。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

## <気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

## <予報の対象期間>

1か月 : 1月18日(土) ~ 2月17日(月)

1週目 : 1月18日(土) ~ 1月24日(金)

2週目 : 1月25日(土) ~ 1月31日(金)

3~4週目 : 2月 1日(土) ~ 2月14日(金)

## <次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日14時30分 次回は1月24日

3か月予報:1月20日(月)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間, 降雪量と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.4	51.6	156.2	31	0.3	0.1	0.5
新庄	-1.4	170.1	51.0	-----	-1.6	-1.7	-1.3
若松	-0.9	74.9	95.8	133	-1.0	-1.2	-0.8
深浦	-0.8	85.5	40.9	83	-0.7	-1.1	-0.7
青森	-1.7	142.1	67.9	280	-1.7	-2.0	-1.6
むつ	-2.0	92.2	88.6	-----	-1.9	-2.2	-2.0
八戸	-1.5	56.0	141.1	55	-1.5	-1.8	-1.4
秋田	-0.4	102.6	57.8	101	-0.4	-0.7	-0.3
盛岡	-2.3	52.8	136.6	62	-2.4	-2.6	-2.2
宮古	-0.2	71.6	169.3	44	-0.1	-0.5	-0.2
酒田	1.1	134.8	51.0	82	1.1	0.8	1.1
山形	-0.7	74.1	99.2	115	-0.9	-1.0	-0.6
仙台	1.2	40.7	163.8	31	1.2	0.9	1.3
石巻	0.3	38.5	178.8	15	0.2	-0.1	0.4
福島	1.3	46.2	153.0	45	1.1	0.9	1.3
白河	0.0	31.6	170.1	-----	-0.2	-0.4	0.0
小名浜	3.3	53.2	196.5	0	3.2	3.0	3.3

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります。下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.4~+0.8	75~110	95~106	81~106
東北日本海側	-0.4~+0.7	88~105	91~111	83~113
東北太平洋側	-0.4~+0.8	64~111	98~104	73~107

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.9	-0.7~+0.9	-0.5~+0.8
東北日本海側	-0.6~+0.9	-0.6~+0.9	-0.5~+0.8
東北太平洋側	-0.6~+0.9	-0.7~+1.0	-0.5~+0.8

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成15年1月17日 仙台管区気象台

## 1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(1月18日~2月17日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1週目(1月18日~1月24日) :

気圧の谷が周期的に通過し、通過後は冬型の気圧配置となる見込みです。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では概ね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(1月25日~1月31日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(2月1日~2月14日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多い見込みです。

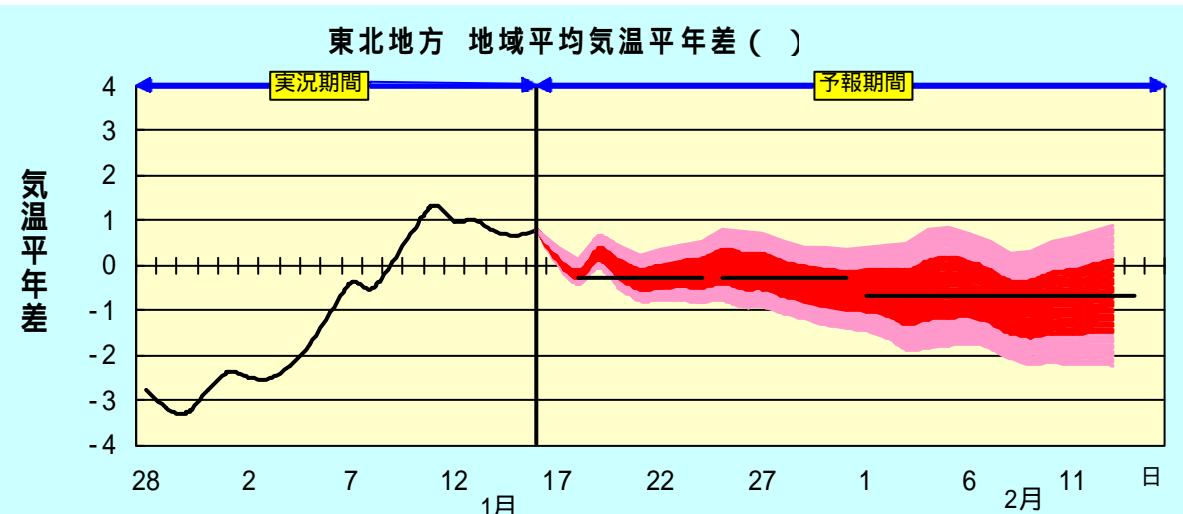
平均気温は平年並か低いでしょう。

平年の晴れ日数

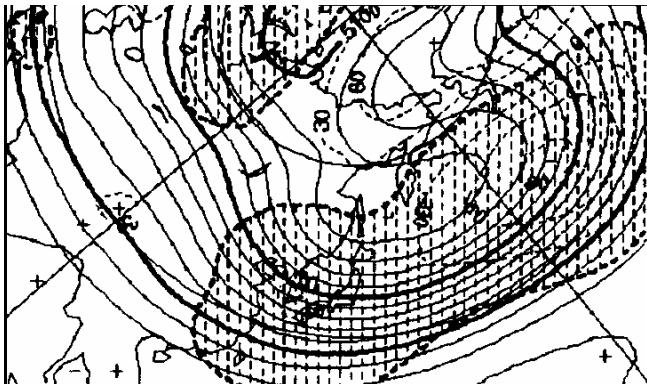
	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	5.3日	1.2日	1.3日	2.8日
東北太平洋側	18.4日	4.3日	4.9日	9.2日

## 2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目と2週目が「平年並」、3~4週目が「低い」を予測している。予報は、その他の資料から3~4週目を「平年並か低い」とするほかは数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。



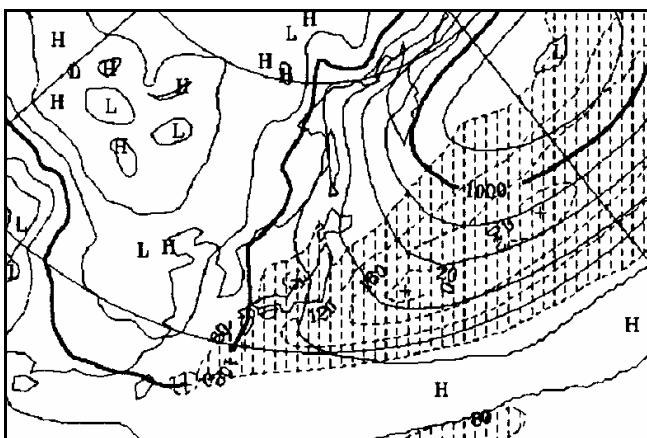
### 3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



#### 500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、オホーツク海に気圧の谷があり、アリューシャン列島の南から日本付近、東シナ海にかけては広く負偏差に覆われる。

週別（図略）では、1週目はオホーツク海に寒冷低気圧が進み、日本付近は負偏差に覆われる。2週目以降、オホーツク海の寒冷低気圧が弱まり、東シベリアで正偏差が強まるが、日本付近は弱い負偏差に覆われる状態が持続する予想。



#### 地上気圧と降水量

月平均で見ると、北日本では、ほぼ平年と同様の冬型の気圧配置で、日本海側を中心に降水域が予想される。

週別（図略）では、1週目は日本付近の等圧線の間隔が開いて冬型の気圧配置は持続しない見込み。2週目以降は1週目より等圧線の間隔が混んで、日本海側の降水域も広がる予想で、平年と同様に冬型の気圧配置となる日が多い見込み。

### 4. 最近1週間（1月10日～1月16日）の天候の経過

期間のはじめと終わりは、冬型の気圧配置となって東北日本海側では曇りや雪または雨となり、東北太平洋側では概ね晴れた。しかし、冬型の気圧配置は長続きせず、12日後半には高気圧に覆われ東北日本海側でも晴れた。13～14日は寒冷前線が東北地方をゆっくり通過したため、東北太平洋側の南部で晴れた他は各地で雨となった。

平均気温は、東北北部で平年差+0.8と平年並、東北南部で平年差+1.0と高かった。降水量は、東北日本海側で平年比92%と平年並、東北太平洋側で平年比33%と少なかった。日照時間は、東北北部で平年比68%と少なく、東北南部で平年比117%と多かった。

